

「平成29年度 民間園長研修会」



今年度の民間園長研修会は、十月二十六日（二十七日にかけてホテルオークラアクトシティ浜松で百八十三名の参加者を迎えて開催

されました。今年度も「夢と希望を持てる保育園・こども園とは」民間園長の資質向上を目指す」というテーマで、「子どもの生活環境や子育て環境が大きく変化し、子ども・子育て支援新制度が施行された中、保育園・こども園の役割は高まりつつあり、より質の高い保育・幼児教育を提供し、安定した施設運営・管理を行うため、民間園長の果たすべき役割を再認識し、研鑽を深める」ことを目的とした研修会でした。



一日目の講義①は、静岡県健康福祉部こども未来課長 黒柳いずみ氏の講義。テーマは「保育行政の動向について」市町村別の合計特殊出生率や、認可保育所の入所定員と待機児童数の状況について詳しく説明をしていた。また、ふじさんっこ応援プランの取り組みについて説明をいただき、大変参考になりました。

次に講義②は、立正大学社会福祉学部教授 大竹 智氏による「子育て支援から連なる児童虐待における保育所・幼保連携型認定こども園の果たす役割」がテーマの講演でした。日々

子どもと保護者に接する保育所・認定こども園において、児童虐待に至る前段階で活用できるガイドブックの紹介を



していた。だきまし。た。「気づく」「かわる」「つなげる」の三つのキーワードを意識して作成されており、自ら悩みを伝えることができず抱え込んでしまう保護者や子ども自身の思いや、日常の保育の場面において感じる子どもや保護者の違和感に気づいて、かわり、つなげることの大切さを知ることができました。

二日目の講義③は、静岡県立短期大学部こども学科教授 永倉みゆき氏による「ふじのくに型キャリアアップについて」をテーマに行われました。保育士の就業に関する実態調査の結果をもとに分かりやすく説明いただき、今後のキャリアアップ制度についての理解も深まりました。以上、大変充実した研修と、各園どうしの交流を深めることのできた二日間でした。